

学校経営基本方針		『自立貢献』夢をもち 自分で考え 判断し行動する		基本方針と努力事項『確かな学力』『豊かな心』『たくましい心と体』『信頼される学校』		
	目 標	実践内容	具体的な取組	成 果 と 課 題 (○：成果 ●：課題)	自己評価 4段階	学校関係者評価 4段階
Ⅰ 一人一人の学力を確実に伸ばす	学 習 活 動 の充実	学習規律の確立 統一した学習指導 の徹底	・ 「3 2 1の徹底」(3分前入室・ 2分前着席・1分前黙想) ・ 学力クラスマッチの実施	○ 生徒の主体的活動(委員会活動)により、学力クラスマッチ対策が 充実し、基礎学力の定着につながった。 ● 学年によっては、落ち着いた雰囲気での授業に取り組めない場面もあ った。今後も根気強く、継続した指導と保護者の協力体制を築くこと が必要である。	2	2
	教 師 の 授 業 力 の 向 上	校内研究授業の実 施 (全員の研究授業)	・ 研究授業による日々の授業の 改善 ・ 授業研究会の充実 ・ I C Tを効果的に活用した授 業の工夫・改善	○ 全職員で研究授業を実施し、I C T (タブレット)を活用した授業 について実践することができた。 ● I C T (タブレット)を活用した授業については、昨年度よりも授 業において活用する機会が増えたが、今後も研修を重ね、工夫・改善 が必要である。	3	3
Ⅱ 生徒を育成する	豊 かな 体 験 活 動 の 充実	キャリア教育の推 進 学校外活動の連携	・ キャリア教育講演会実施 ・ キャリアパスポートの作成に よる評価の改善 ・ 生徒会活動の充実	○ キャリア教育講演会及び高校出前授業を実施し、将来の職業に対す る意識を高めることができた。 ○ 生徒会活動の充実に向けて、生徒会役員・管理職・教務主任・生徒会 担当でミーティングを実施し、今後の取組に対しての意見交換を行っ た。 ● 総合的な学習の時間におけるキャリア教育のさらなる充実が必要で ある。	3	3
	心 の 教 育 の 充 実	基本的な生活習慣 の充実 あいさつと返事の 習慣化	・ 8：15登校完了の徹底及び 時間厳守の指導 ・ 無言清掃の徹底 ・ 容儀面の指導の徹底(定期的 な容儀検査)	○ 容儀面については、大半の生徒が問題なく生活することができてい る。 ○ 無言清掃については、概ね徹底することができた。 ● 時間厳守の指導については、今後も継続した指導が必要である。	3	3
Ⅲ 健康な体力を身に付けさせる	健 康 安 全 教 育 の 推 進	生活リズムの確立 生命・安全を大切に する指導の充実	・ 新型コロナウイルス感染症や インフルエンザ等の感染症対 策 ・ 「残食ゼロ」指導の徹底	○ コロナウイルス対策において、委員会活動を中心に取り組むことが できた。(換気の徹底及び加湿器の管理等) ● 「残食ゼロ」指導については、今後も継続した指導が必要である。	3	3
	部 活 動 の 充 実	キャプテン会の実 施	・ 部活動の視点から学校をより よい方向へ導いていく取組(部 活動生集会、キャプテン会の実 施) ・ 部顧問会による基本方針の 統一	○ コロナ禍で様々な制限がある中での部活動であったが、各部活動で 目標に向けて活動することができた。 ● 部活動生集会・キャプテン会を開催することができなかった。次年 度に向けて、会の内容等について検討をしていきたい。	3	3
Ⅳ 学校づくりを推進する	学 校 開 放 の 促 進	地域の諸団体との 連携	・ 青少協との連携及び民生児 童委員会の本校開催 ・ ホームページの充実	○ ホームページについては、学校行事等の様子を定期的に更新し、充 実することができた。 ● コロナ禍のため、実施できることできないことを精査しながらの開 催であった。 ● 地域との会合や連携については実施できず、学校の実情を伝えるこ とができなかった。	2	3
	地 域 連 携 事 業 の 創 出	学校支援ボランテ ィアの積極的な活 用 学校運営協議会の 発足	・ はげまし隊との連携の充実 ・ 学校運営協議会メンバーの選 定及び学校運営協議会の設置	○ 学校運営協議会準備委員会を発足し、メンバーの選定及び学校運営 協議会の設置に向けて協議を行うことができた。 ● はげまし隊に支援をいただいたが、指導面で御迷惑をおかけするこ とがあった。班長と現状についてのミーティングを実施し、改善にむ けての意見交換を行った。	3	3

